

最近の雇用失業情勢（令和6年2月の内容）

1 県内概況

「有効求人倍率は1.32倍（季調値）」（前月より0.01ポイント下降）

[概況]

- 「雇用情勢は、**改善の動きが弱まっている**。物価上昇等の影響に十分注意する必要がある。」
- 有効求人倍率は**前月より0.01ポイント下降**。

[基調判断]

- **《情勢維持》**

[判断根拠]

- 有効求人倍率が微減しているが、一時的な動きかも含めて、今後の状況を注視する必要があるため。

2 各指標の動向

新規求人数は宿泊・飲食サービス業等で増。製造業等で減。

[新規求人数]

当月：5,162人 製造業の減員等により－504人（前年同月8.9%減）

[産業分類別]

- 「増」（対前年同月比）
【宿泊・飲食サービス業】当月：473人 前年同月：+17人
- 「減」（対前年同月比）
【製造業】当月：452人 前年同月：－163人
【医療・福祉業】当月：1,090人 前年同月：－97人
【サービス業】当月：573人 前年同月：－87人
【卸・小売業】当月：634人 前年同月：－51人
【運輸・郵便業】当月：291人 前年同月：－48人

[地域別求人倍率]

【鳥取所】当月：1.16倍 前年同月：－0.21P
【米子所】当月：1.58倍 前年同月：－0.13P
【倉吉所】当月：1.51倍 前年同月：－0.34P

[正社員関連]

有効求人倍率 1.07倍（8か月連続で前年同月を下回る）
→全国指標1.04倍（5か月連続で前年同月を下回る）

[新規求職者数]

当月：2,208人（前年同月0.6%増）